

## ATAC社長懇話会の実績

### 過去5回の内容

ATACが中堅・中小企業のコンサルティングを通じて多くの社長がそれぞれ個性あふれた経営理念を持って経営されている実態を体験し、一同に会して話し合える場を設けお互いの経営の参考になればと願い、昨春から社長懇話会を開催しています。社長懇話会では中小企業の工場見学と見学先の社長のお話を聴く企画で、既に5回実施してたいへん好評を博しています。

当初、どういう形式にするか検討を重ねるとともに、社長様方のご意見も聞きました。

「大企業は見学の機会も多いが、あまり参考にならない、中小企業の見学と社長の話を聴きたい」とのご意見がすべてであったので、その線に沿って企画を進め、参加を20名に限定して、毎回ほぼ定員の盛会を続けています。その内容は逐次ATACニュースで発表していますが、ここに過去5回を振り返ってその成果をまとめました。

| 見学工場           | 業種                        |
|----------------|---------------------------|
| 第1回：平成15年3月5日  | 長島精工(株) (城陽市)<br>平面研削盤    |
| 第2回：同 年7月23日   | 白光(株)堺工場 (堺市)<br>はんだごて    |
| 第3回：同 年11月19日  | (株)イワサキ (大阪市)<br>オフィス家具   |
| 第4回：平成16年3月23日 | ナルックス(株) (高槻市)<br>光学レンズ   |
| 第5回：同 年7月23日   | (株)ナード研究所 (尼崎市)<br>化学製品研究 |

### 成果

以上のように、毎回業種の異なる特徴ある企業を選び、立派な経営理念を持って経営を推進する社長の話を直接聴くことにより、参加者に多くの感銘を与え、自社の経営に大きなヒントを得られたと自負しています。

5回を通じて、特に印象的だったのは、いずれの回も中小企業は人材が最も重要な経営資源との認識の基に、人材や社長後継者の育成問題、人事管理に話題が集中したことです。人材や人事に関する問題は業種の如何を問わず中小企業共通の重要課題と改めて認識した次第です。

なお、ご参加の社長各位のご要望も取り入れ、当初午前から夕刻までのスケジュールを組んでいましたが、第4回以降は午後開催として終了後に立食パーティーを設けました。これにより、参加者同士お互いの親密な関係が深まり、後日、見学先社長への再相談や取引の話に発展するなど、波及効果がますます広がっています。

今後、参加各位のご意見を尊重して、ますます充実した社長懇話会への発展を目指しています。(田頭記)



▲第1回 長島精工(株) 最先端産業を支える超精密技術は、日本の伝統に培われた職人の「こだわりのキサゲ作業」から生まれる。



▲第3回 (株)イワサキ 社長基造氏の改革意欲に満ちた現状説明風景。

◀第4回 ナルックス(株) ナノテク加工を経営ビジョンに目指している。

第2回 白光(株) 平成15年4月より生産革新を実施し、その成果をつぶさに見聞した。



▲第5回 (株)ナード研究所 実験室

## ATACコラム

年末から新春にかけて恒例の公的支援制度の案内が開始されます。最近では、NEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)等からは、年中行事のようにいろいろなテーマに関して公募がされています。各省関係先が扱う最近の公募では、独創的・・・革新的・・・創造的・・・といった枕詞から始まる研究には、多額の補助金が交付されています。

ATACは中小企業経営者の方々に、各種公的支援を活用していただくための相談を、日常業務として実施しています。この際、鋭意研究されている研究課題の早期市場化を図るためにも、ATACの活用をお勧め致します。(三原記)